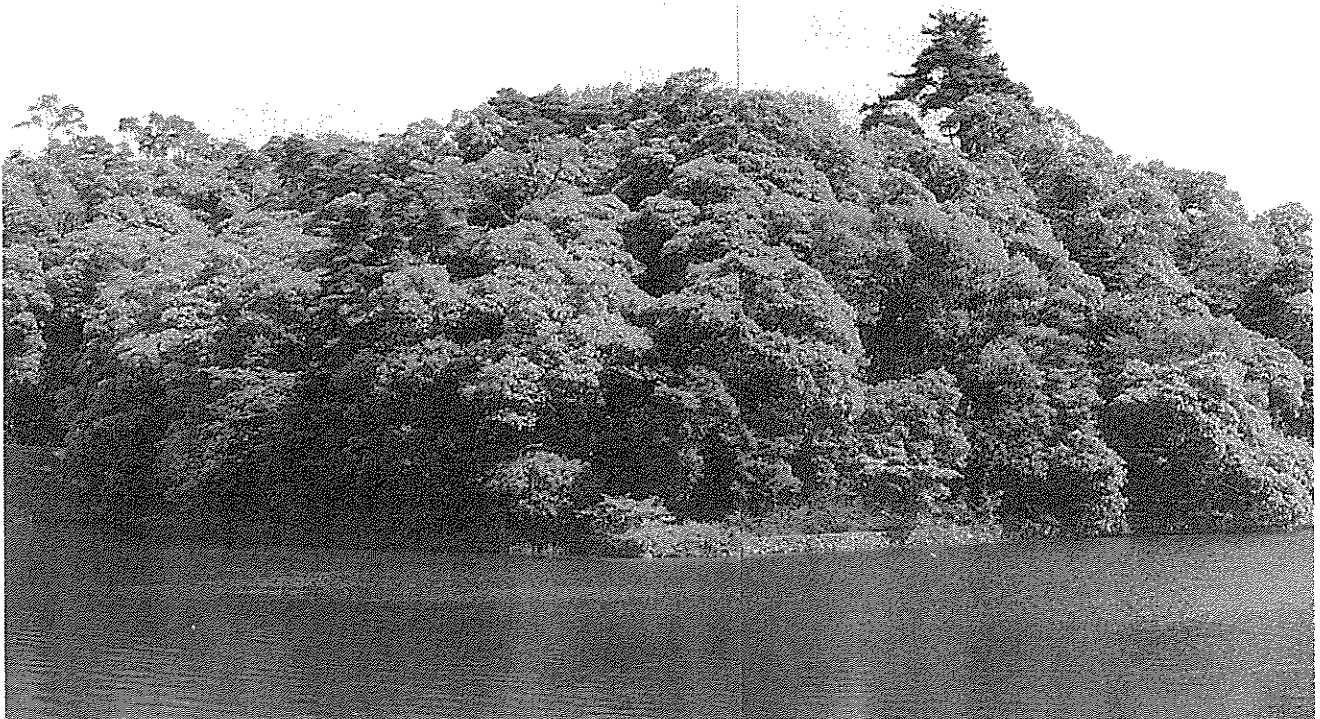


山の辺の道を歩く PART-7



＜あんどんやま行灯山古墳（崇神天皇陵）＞

山の辺の道は車谷の集落を過ぎて少し進むと、眼前に巨大な前方後円墳が次々と現れる。最初に見える古墳は向山古墳むかいやまと呼ばれ、景行天皇陵とされている前期前方後円墳では最大の古墳である。

やがて道はなだらかな丘につくられた果樹園の中を進み再び前方に現れるのが行灯山古墳あんどんやまで崇神天皇陵に比定されている。崇神天皇は日本書紀に御肇国天皇はつくにしらすめらみこととたたえられていて、記紀編纂当時、最初に国家を統一した王という認識があったのであろう。しかしこれらの古墳が景行天皇や崇神天皇の墓かどうかははっきりしていない。幕末から明治にかけ陵墓の比定が行われる以前は現在の景行陵と崇神陵が入れ替わっていたのである。

何れにしてもこの両古墳とその南の箸墓古墳とともにこのあたり一体は柳本古墳群と呼ばれ、前方後円墳の宝庫であり、初期の統一国家の王たちの眠る聖域である。

第8回 奈良県生

5月18日(土)コープおしくま大会議室に於いて第8回通常総会が来賓8名の列席をいただき開催されました。理事・代議員・オブザーバーなど計58名の参加があり、提案された議案は全て承認されました。



挨拶中の繁田会長と来賓の方々

来賓の方々

奈良県生活環境部県民生活課・課長	北岡 四郎
奈良県生活環境部県民生活課・係長	川内 輝明
日本生活協同組合関西地連・事務局長	梶田 義龍
奈良YMCA国際平和委員会事務局長	渡辺 新久
奈良県生活学校連絡協議会・会長	古川 佳子
奈良県消費生活研究会・運営委員長	小杉 弘子
樟蔭女子短期大学学生課長	田村 和彦
市民生活協同組合ならコープ・理事長	逸見 啓

奈良県知事からの祝電

奈良県生活協同組合連合会のご盛会を祝し、あわせて貴会のますますのご発展と皆様方のご健勝をお祈りいたします。

奈良県知事 柿本善也

今年は、奈良県生協連が設立され7年目になりますが、全国で初めて夜間大学として奈良県立商科大学生協及び高専として第1号の奈良工業高等専門学校生協の仲間を迎えることが出来ました。又、奈良県で私学としては初めての生協として6月に設立が予定されています樟蔭女子短期大学生協からも出席していただきました。

第8回通常総会 奈良県生活協同組合連合会



北岡四郎県民生活課課長の挨拶

全国からの祝電・メッセージ

- ・奈良県知事
- ・奈良県農業協同組合中央会
- ・奈良県協同組合連絡協議会
- ・奈良県森林組合連合会
- ・奈良県青年団協議会
- ・広島県生活協同組合連合会
- ・三重県生活協同組合連合会
- ・山口県生活協同組合連合会
- ・愛媛県生活協同組合連合会
- ・全岐阜県生活協同組合連合会
- ・富山県生活協同組合連合会
- ・高知県生活協同組合連合会
- ・神奈川県生活協同組合連合会
- ・埼玉県生活協同組合連合会
- ・岩手県生活協同組合連合会
- ・長崎県生活協同組合連合会
- ・鹿児島県生活協同組合連合会
- ・福岡県生活協同組合連合会
- ・沖縄県生活協同組合連合会
- ・名古屋勤労市民生活協同組合
- ・おおさかパルコープ
- ・日本生活協同組合連合会
- ・日本生活協同組合連合会
関西地連
- ・大学生協京都事業連合
- ・大阪府生活協同組合連合会
- ・兵庫県生活協同組合連合会
- ・和歌山県生活協同組合連合会
- ・京都府生活協同組合連合会
- ・岡山県生活協同組合連合会
- ・愛知県生活協同組合連合会

協連合会通常総会

各生協からの代議員報告



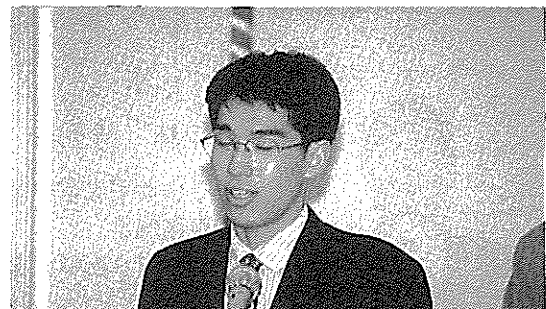
奈良女子大学生協の真柄あや子さん



奈良教育大学生協の
藤田典史さん



奈良高専生協の藪内松子さん



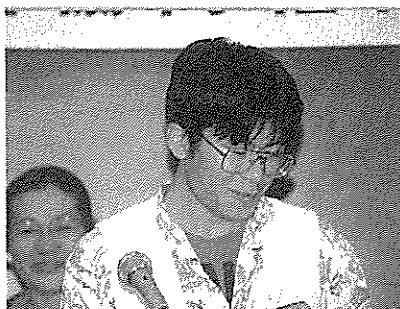
県立商科大学生協の緑川^{たかし}天さん



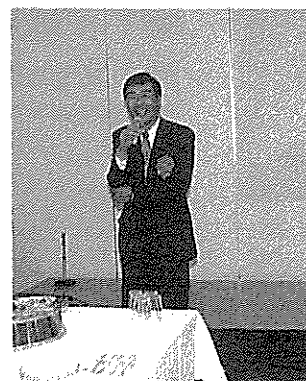
労済生協の川口満一さん



ならコープの若原千津子さん

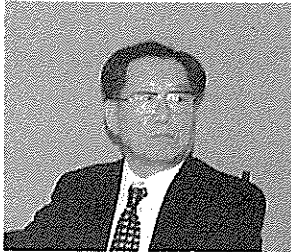


特別決議を読みあげる奈良高専生協の
松岡弘邦さん



設立準備委員長 田村和彦氏
短大生協
結成される予定の樟蔭女子

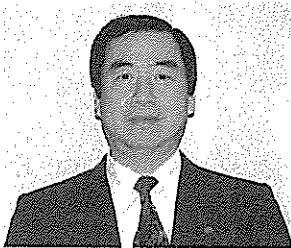
☀️ 新理事・監事紹介 ☀️



会 長
繁田 實造氏
・ならコープ名誉理事
・奈良県消費生活審議会委員



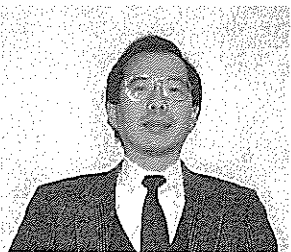
副会長
右手 五郎氏
・奈良県労働者共済生協
専務理事



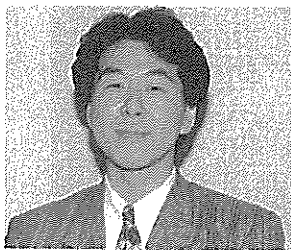
専務理事
瀧川 潔氏
・ならコープ専務理事
・奈良県農政推進会議
農村活性化部会委員



理 事
仲宗根 迪子氏
・ならコープ副理事長
・奈良県環境審議会委員



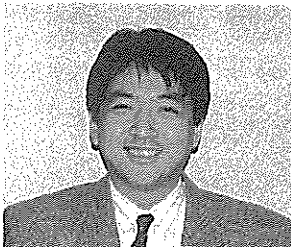
理 事
小林 利幸氏
・奈良女子大学生協
専務理事
・奈良県立商科大学生協
理事



理 事
疋田 利政氏
・奈良教育大学生協
専務理事
・奈良工業高等専門学校
生協理事



理 事
堀田 新五郎氏
・奈良県立商科大学生協
専務理事



理 事
上田 久司氏
・おやさと生協理事



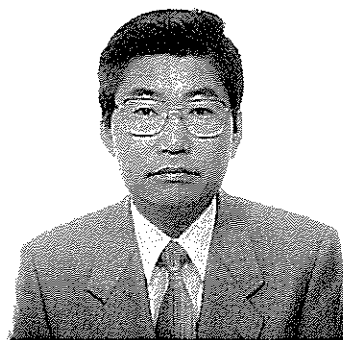
理 事
桐川 修氏
・奈良工業高等専門学校
生協専務理事

監 事
増井 正哉氏
・奈良女子大学生協理事

監 事
佐藤 宏明氏
・奈良教育大学生協理事

奈良工業高等専門学校 生活協同組合の誕生まで

奈良工業高等専門学校生活協同組合理事長 梅原 忠



奈良県下先輩生協の皆様、はじめまして奈良工業高等専門学校生活協同組合です。16文字の長い生協名であるとともに、高等専門学校（全国で62校）で初めての生活協同組合と伺っています。

小生も学生時代大学生協の組合員でもありましたし、現在家庭では市民生協ならコープの組合員として生協には利用者として関わってきたのですが、「生協の設立」となると全くの素人でもあり、はたして学校内で合意が得られるかどうかとも判らない状態でした。

そもそも学校内には永年にわたって、業者により運営されている学生食堂があり利用者の声を反映するための委員会である「学生食堂連絡協議会」が毎年数回開催されていました。毎年のように味に対する注文、売り切れが多い事への不満等改善要望が出されていたのですが、改善が一向にされない状態が続いていました。昨年夏に、他の業者から学生食堂の運営をしたいとの要望があり、業者を変更することの決議が連絡協議会でなされ、しかも一般業者でなく生活協同組合方式で食堂を運営すること、さらに購買部（食堂と異なる業者で運営されていた）も併せて検討を開始することとなりました。

さて大学生協のようなものを高等専門学校で設立するにはどうすればよいのか。最初に電話により問い合わせたのが、奈良県生活協同組合連合会でした。ご親切に県内の奈良女子大学生協専務理事の小林氏、奈良教育大学生協専務理事の疋田氏（奈良高専生協員外理事として協力して頂いています）をご紹介頂き、色々とお話しを伺ったのが準備の始まりでした。その後、生活協同組合連合会大学生生活協同組合京都事業連合の方々が、準備のために色々情報及び資料を提供して頂き、また

県への対応をご指示、ご指導頂き、設立に向けての準備が着々と進行していったように思えます。

一方学校内の合意については、厚生補導委員会、運営委員会、教官会議等の本校の会議システムに合わせて、報告並びに了解を得ることで進めてまいりましたが、小生同様ほとんどの教職員の生協についての認識は、過去の利用を通してであり、設立に向けての協力を得るにはかなり苦しいと実感しました。また、奈良高専は大学と異なり、本科及び専攻科からなりその年齢構成も15～22才で、いわゆる高校生に相当する学生が全学生の約6割を占めている学校です。学生の積極的な賛同が得られるか、約1,000名の学生で安定な運営が出来るだろうか等不安な事ばかりになりました。

このような状況の中でしたが、教職員の9割以上また学生の6割以上の賛同を得、2月14日に設立総会が開催され無事終了次第です。これからが全国高専に先駆けての生活協同組合のスタートです。

奈良県生活協同組合連合会の方々のご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。



通常総会で高専の新しい仲間を迎えて花束贈呈

奈良県消費生活

審議会に参加して

奈良県消費生活審議会委員

奈良県生協連会長 繁田 實造



平成7年6月1日付で奈良県消費生活審議会の委員委嘱をうけ、同年9月4日と本年3月21日の審議会に出席した。当審議会のメンバーは、消費者代表12名、事業者代表9名、学識経験者7名からなり、県生協連は消費者代表ということで、女性9委員、男性3委員のうちの1名となっており、その位置づけも正しく評価されての委員であるので、大いに満足している。また、製造物責任法との関係で新設された消費者苦情処理部会（消費者代表3名、事業者代表2名、学識経験者4名）にも消費者代表として入ることとなった。

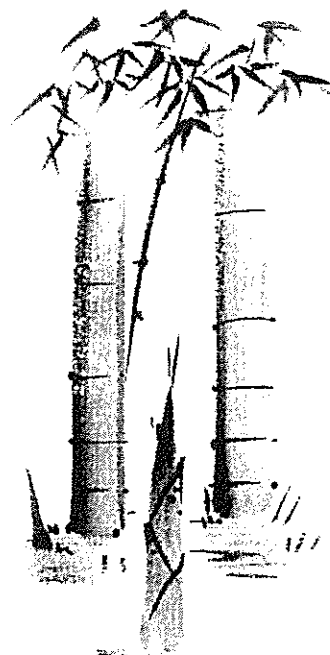
奈良県生協連としては、長年にわたって意願してきた県審議会等への初参加であるので、発言等についても慎重にして、県生協連はさすがだと評価されるようにしたいと思う。前ならコープ理事長として、また県生協連会長として、長年議長席にすわり、各理事さんの自由な発言をいかに確保し、諸発言をいかにまとめあげるかに心がけてきたので、生協関係の会議では一度すわってみたい位置であり、その点では大変気楽な席であるともいえる。

審議会での発言については、消費者代表という立場から離れないようにと自戒している。

また発言内容について、議題の性質により、遠い射程をねらうのか、現実の少し先に着弾点をおくべきかを十分に判断する必要があると思うが、いずれにしても少しでも現状を改善することに通ずるような発言をするように

心がけたいと思っている。県生協連は他方で事業連合としての一面をもっており、わたし自身もならコープへの参加をはじめ、多くの社会活動への参加は学識経験者（大学教授・法律学）という身分でなされることの方が多くいわけで、厳密にいえば複雑な立場にあるともいえるが、二者択一を迫られれば、当然消費者代表としての発言をすべきであると考えている。

最初に消費者苦情処理部会であるが、消費科学モニターにおける消費生活相談などの活動が盛んであるためか、今までに1回も部会が開かれていないことを報告するとともに、審議会委員ということで、かなりの情報の提供のあることも報告しておきたい。



奈良県環境総合計画の答申と 環境基本条例策定にあたって

奈良県環境審議会委員

奈良県生協連理事 仲宗根 迪子



平成7年度奈良県環境審議会が3月25日に開催され、去る12月に知事より諮問されました『環境総合計画』が答申されました。これは21世紀の奈良県を展望する『奈良県新総合計画』に基づく環境面のプランで、2回の小委員会で議論修正されまとめられました。主な中身は、基本理念に『自然と歴史に恵まれた心豊かな奈良県の創生』を謳い、基本目標に(1)優れた環境資源と県民生活との共生、(2)循環型社会システムの形成、(3)環境に配慮した行動の確立の3点を掲げ、県・自治体・事業者、県民の各々が担う役割を示し、また県を3つの地域(大和平野・大和高原・五條・吉野地域)に区分し、具体的に示しています。こうした計画は実行されて初めて活きるもの、奈良県だけでできるものでもなく、近隣府県との協議も必要ですし、事業者の理解、そしてなにより県民一人一人が生活者の立場で自分の足元から見つめ直し1歩を踏み出すことだと思います。ゴミや暮らしの問題は女の問題なんていわないで、男性も子どもも一緒にやりましょう。

さてこの環境総合計画を実効性のあるものにするため、いよいよ奈良県環境基本条例の制定に向け審議が始まります。この小委員会にも参加することになりました。このニュースが発行される頃にはすでに開かれていますと思いますが、法律や条例というものはどうも堅苦しくて市民には馴染みにくいもの、でき

るだけ誰にでも解るような条例になればと願っています。法整備がされ、アクションプログラムが作られ、進捗状況がチェックされてやっと確実なものになっていきます。目も耳も開けて、手を取り合って口も足も出し、住みよい奈良にしたいですね。

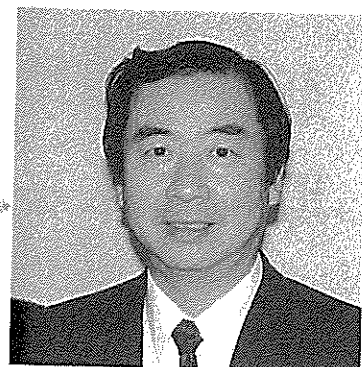
ならコープの日常的な会議は、ワイワイがやがやの進行で、あれこれ意見がでる中で理解を深めていきますが、審議会は総勢40名、小委員会は15名、学識者・各種団体代表者(私もその一人ですが)・県会議員・国の機関の方、それに県職員が10数名おられ、なかなか普段どおりにはいきません。小委員会ではいろいろな意見も言い易いですが、的はずれなことを言って失笑を買わないか(恥は学びの始まりと思っているのですが)多忙な方ばかりで議論を長引かせては悪いかな?とか、妙な心配をしてしまいます。

せっかく場を与えられてますので、少しでもみんなの意見が反映させられればと思っています。それでも意見の少ない審議会で発言するのはやっぱり勇気がいらしますね。



奈良県の農山村の 活性化を進めるために

奈良県農政推進会議
農村活性化部会委員
奈良県生協連専務理事 瀧川 潔



奈良県農政推進会議に属する農村活性化部会に委員として参加の要請を受けましたので奈良県生協連として参加することになりました。

農政推進会議は、県内各界の有識者の協議により、農業農村政策・施策の効果的な推進を計るために、県によって設置されたもので、農村活性化部会はその専門部会として設置されたものです。2月13日に第1回の部会が春日野荘で開かれました。

部会の構成委員は、農林漁業、観光業、商工業、消費者、報道出版、食品の各関係者代表と学識経験者から成る16名となっています。

委員には、奈良県協同組合協議会で一緒に農協中央会杉本専務理事や森林組合連合会の堀内専務理事、また21世紀やまとむらづくり塾で一緒に奈良交通樋口常務（部会座長）、若羽調理学園の田中理事長、奈良出版サービス社の小林代表の顔が見えます。農業者としてならコープともギフト取引のある「手作りハムばあくの会」の泉澤ちる子さんも委員となっております。学識経験者では面識のある京都大学の嘉田良平教授（今回欠席）が参加されています。

部会は、農山村の自然環境・生活・文化等の諸資源を活用し都市との交流などを通じて農山村の活性化を図るのが目的です。

今回は県の農業の概要と課題、農業農村振

興計画（新NAP策定）の概要の各説明と、新しくできた「農山漁村滞在法」の説明と質疑応答がほとんどで、各委員の意見を出せるような内容はなかったのですが、今後は農村活性化の具体的な計画や実施についての論議が交わされるものと考えられます。

私たち生協は、人間の命を作り出し健康な生活を保証する食べ物や環境を維持するためには、農山村の役割が極めて重要だと考えています。そして、消費者・生活者と農山村との提携が是非とも必要であると考え、産地直結など生産物の流通を通じて交流をめざしてきました。

その活動があってこの部会への参加となったと考えられますので、こういった立場から、協力できる事は積極的に発言し、実践につなげて行きたいと考えています。

皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



奈良市の容器包装 リサイクルについて

奈良市清掃業務審議会専門分科会委員
奈良県生協連事務局長 大國 康夫



4月25日に8回目の奈良市の専門分科会がありました。メンバーは会長に同志社大学の郡嶋先生を始め、女性団体、商工会議所、ダイエー奈良店の店長などです。今回の協議事項は『地球環境賞』の申請書の改定です。小売店舗用、事務所など用、市民団体用について沢山の基準項目をつくり、公平で励ましになる内容を決めました。

奈良市ではご存じのように3万世帯で、缶4種類の瓶の分別回収実験を自治会でやっています。そして、昨年決めた発泡スチロール食品トレー回収を公民館など33か所で行い、4.4トンが回収されました。回収されたトレーはならコープと同じで天理市の積水化成品工業で再生されています。トレーは今でも奈良市だけでも40トン以上がゴミとして埋め立てられていると思われます。奈良市にはスーパー・百貨店などが60店舗あります。その中で33店舗がトレー回収を行っています。回収量にはばらつきがありますが、多い所ではジャスコ奈良南店で2,562Kg、イズミヤ新大宮店で2,356Kgでした、私たちももっと自覚して取り組みたいと思います。

2月に郡嶋先生等と栃木県の関東ペットボトルリサイクルセンター視察に行きました。高く積まれたペットボトルの中で眩暈がしました。規制緩和の一環で500ml等のペットボトルが売り出されます。軽くて便利ですので、よりいっそう利用され空き缶のようにばい捨

てペットが田畑に、溪流に川に海にと品のない情景を作るのではないかと懸念されます。関西ペットボトルリサイクルセンターが伊賀上野に、全国では8か所ほど予定されています。他の動物、植物に迷惑を掛けないように、せめてばい捨てでなくリサイクルをしたいものです。

アース・デーが4月27日に王寺の大和川で行われ、たくさんのビニール袋類を拾いました。奈良盆地全体から集まってきたと思われます。自分ぐらいはとか、大雨の時にごみを捨てる人とか、まだいるのでしょうか。1990年から復活したアース・デーはみんなで奈良の環境を考える日にしたいものです。また、ならアース基金協会もアース・デーを契機に作っていますので、奈良の環境についていっしょに考えませんか、加入連絡をお待ちしています。



2月23日・24日市の環境審議会では栃木県の関東ペットボトルリサイクルセンターを視察中の大國事務局長

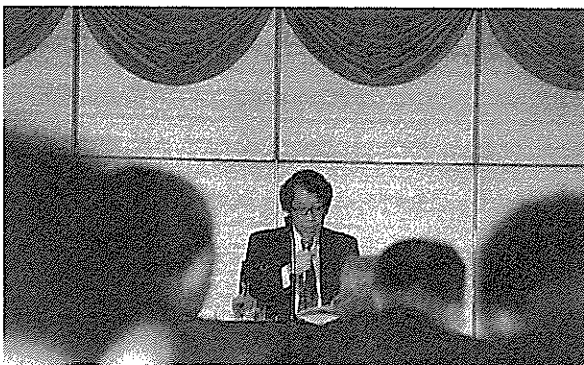
— 広がる協同・くらしの輪 —

農村活性化の集い



2月8日当麻町文化センターで開催され、パネラーとして発言する仲宗根理事

容器包装リサイクル法の説明会(京都)



3月19日近畿農政局課長の説明会

'96平和行進送り出し集会



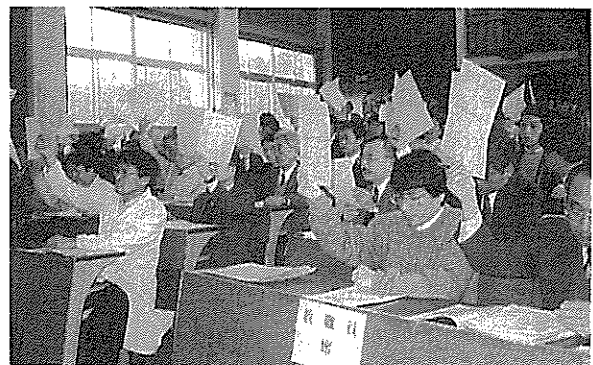
4月29日9ならコープ通し行進者松澤英之さんの送り出し集会がならコープで行なわれ、約200名の組合員の参加がありました

奈良高専生協創立総会

2月14日全国ではじめての高専での生協としての創立総会が開かれました。



繁田奈良県生協連会長による挨拶



満場一致で設立議案が可決されました

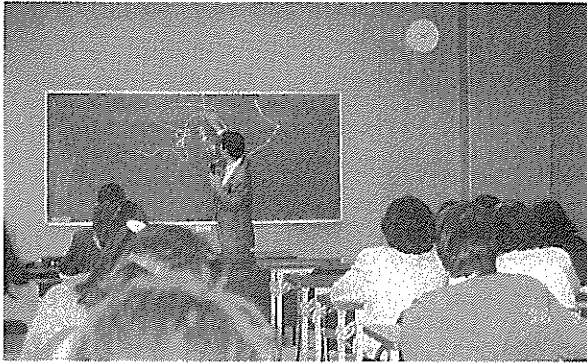
中央環境審議会環境基本計画ヒアリング



3月28日市民参加について発言する村城ならコープ常任理事

アースデープレ企画

3月18日中小企業会館と社会福祉総合センターに於いて森田三郎氏の講演等が行なわれ、社会福祉センターには環境問題を学習する小学生などの参加が多くありました。



講師の森田三郎(千葉県)さん

アースデー

4月27日好天のもと、三郷町の大和川河川敷でピアニスト河野康弘さんのコンサートと、ゴミ拾いが行なわれ教育大、奈良高専の学生など多くの組合員を含め約350名の参加がありました。



教育大の学生さん

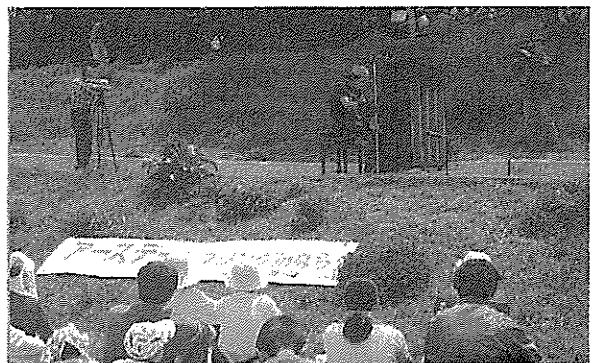
第11回生協行政協議会



3月29日「水」フォーラムでは3月18日に出た意見などを建設省大和川工事事務所に向けて発表し、これらの意見を「フォーラム宣言」としてまとめ採択しました。



「水」フォーラム発表(婦人会館)



河野康弘さんの演奏



奈良高専の学生さん

5月16日 奈良女子大生協に於いて行われ、北岡四郎県民生活課課長と青山明彦主査の出席のもと、瀧川専務より95年度活動のまとめと96年度方針についての説明と各生協の報告を行いました。

Environment (環境)

生協活動で得た宝物

ゴミゼロの会 田村 弘子

1990年4月27日(東向女性センター)その日は牛乳パック回収の学習日とゴミの問題関心への出発日となりました。その後地域での牛乳パック回収のミニステーション、ステーション作りとなり組合員による「カートンクラブ」誕生となり初代カートンクラブ代表として生協活動の楽しさ、ちょっとの苦しさを経験し、他人との共感、プロセスの大切さ水平感覚の物事の考え方(あくまでもピラミット型にならない)を得て人々とのかかわることの大切さを学びました。この経験を得て初めて生協組合員になって良かったと実感しています。

牛乳パック回収の経験を地域にと自治会活動でアルミ缶回収を提案し有志で1年間不燃物回収日(毎月第1土曜日)の前日、夜8時～9時までアルミ缶ぬきとり作戦を行い雨の日は休み、無理をせずワイワイ楽しく活動することをモットーに実行しました。5ヶ所あります2年目3年目は、自治会員全員でアルミ缶をぬきとりとゴミの出し方を経験学習し三宅町東屏風団地(310軒)独得の不燃物ゴミ分別を行うまでになりました。

1. アルミ缶
2. 空カン(スチール等)
3. ビン、ガラス、セトモノ
4. 蛍光灯、電池
5. その他(ポット、雨がさ台所用品等)

しかし、今の所、行政の方では大きいトラックに一括して持っていきます。でも、私達「ゴミゼロの会」を中心に自治会員は分別練習は継続していこうと頑張ってます。「継続は力なり」です。それと平行して山辺広域行政事務組合とコープサイクル山辺(組合員の環境サークル)の皆様と共に一日も早く山

辺広域で分別収集が実現できる様に日々努力しているところです。

1996年4月6日(土)「ゴミゼロの会」の話し合いがあり、1年間(95年度)の活動と収支報告が行われました。集まれば雑談も生まれます。雑談の中に「キラリ」と光る問題点があるものなのです。この日の「キラリ」は、高齢者問題です。この問題はずーと前からこの地域では“芽”が出てたのですが(子供が少なくなりました)どう育てていくのが今後の課題です。でも私は楽観的です。この地域は平時から地域活動(生協、自治会、他団体等)が多種多様に動いています。コミュニケーションの豊かな所はきっと高齢者問題ものりきっていくことでしょう。

人間関係の中味をしがらみ、情にほだされるというマイナス面ではなく、お互いに議論をして自己決定する人々の集まりとし、協調性も大切にし成熟した人間関係を作りたいと願っています。仲間と共に地域と共に私は成長していきたい。

生協活動で得た宝物を大切にしていきたいと思っています。



ゴミゼロの会のメンバーと
(前列右から二人目が田村さん)

Welfare (福祉)

声で届ける生協の情報

テープこずりの会 木村 修子



4月17日 交流会の後でテープを利用されている方といっしょに(右端が木村さん)

テープこずりの会は、目の不自由な組合員の方からの「生協の活動の様子や情報を、色々知らせてほしい」という要望に応える形で、生協の情報誌『あそがき』をテープに吹き込む事から始まりました。

このテープは、毎月、当番の会員が自宅で録音し、録音したテープを共同購入システムを利用して組合員活動室へ送り、そこで編集ダビングして、また共同購入システムを通して利用者の手元へお届けする……。という過程を経ているため、色々問題もあります。テープが届くのが遅くなるため、催し物の申し込み期日に間に合わなかったり、自宅での録音なので、録音中外部の雑音が入ったり、電話のベルで中断させられたり……。と、なかなか思うように録音できません。

でも「テープに入っている犬の鳴き声や車の音も、雑音とは思っていません。B.G.Mの様に思って色々想像しながら楽しく聞かせていただいているんですよ」とおっしゃる利用者の方たちの大らかなお話しに私たちもホッとしています。また、「あそがきのテープを

聞いていたので、皆の話題の輪に入っていました」と言う声を聞くと、お役に立ててよかったなど、うれしくなります。

テープ録音を始めた頃は、自分の声がどのように届いているのか、また、文中の『表』や『写真』の説明はどうすればよいのか、色の表現のある文章の場合、そのまま読んで良いのかどうか……。など、不安や、わからない事ばかりでした。生協主催の「テープ吹き込みについての講習」を受講したり、奈良県の朗読ボランティアの講習を受けた会員の方から、朗読の注意やポイントを教わったり、自主的に学習会を開いてきました。また、テープを利用されている方をお招きして、意見を伺ったりしています。

“あそがき吹き込み”からスターとした会ですが、より多くの情報をお届けしようと、『運営通信』や、商品の紹介、保険の案内などもテープに吹き込んでいます。また一年ほど前から、テープこずりの会の有志数名と、他のボランティアの方たちとで、注文書(コメントとクリップ)の吹き込みも始めました。

現在、会員18名テープ利用者11名ですが、もっと多くの方に利用していただけたらと思っています。



奈良教育大学生協

3月から4月にかけて、新入生を暖かく迎えようと新入生歓迎行事の様々な企画を行いました。入学手続き時には、食堂ホールにテーブルをだして新入生のいろんな不安や質問に先輩の立場から応える「なんでも質問コーナー」を設置し、単位のこと・下宿生活・アルバイト・資格取得や留学に至るまで様々な質問が出されました。また、この取組みは4月3日付け朝日新聞奈良版でも紹介され、この記事を見た大学の教職員から「新入生に配った冊子を欲しい」といった反響もありました。

入学式を前後して、恒例の「さくらハイク」「自炊講習会」「突撃学内探検隊」「アルコールパッチテスト」などの企画を行いました。参加した新入生からは「とても楽しかった」「いい先輩に巡り会えた」などの感想が出されており、こうした企画を通じて生協の活動に関わってくれる学生も多く出てきています。

(疋田専務理事)



4月3日付朝日新聞記事

労済生協

全労済では、2月より開講しておりました第2回ホームヘルパー養成講座も、4月25日の修了式をもって終了いたしました。今年は36名の修了生となり昨年より若干少なくなりましたが、全員熱心に研修され多くの方が2

級への進級意欲を高められています。

また、この第2回生の修了時点で全体修了生が84名となる事により、全労済奈良県本部として修了生による連絡協議会を発足させ、今後の地域における福祉等の対策に不可欠である地域ネットワークの核として育てていくところであります。

その他活動としましては、恒例の「親と子ふれあいのウォークラリー」が5月3日(祝)に奈良市の柳生の里で催され約500人の参加で剣豪の里に歴史とロマンを訪ねて、春らんの風景を満喫しました。

(武本事業推進二課課長)

奈良工業高等専門学校生協

奈良高専生協は、3月13日に県より正式な認可を受け、4月8日より営業を開始しました。オープンには学長・理事長等によるテープカットが行われ、この様子は4月の文教速報で全国に紹介されました。また、4月20日には学生による新入生歓迎のフレッシュマンパーティーが行われ、40名近い新入生がゲームや討論で先輩達と楽しく交流しました。なおこの企画には、明石・神戸高専の学生も参加しました。

4月25日に開かれた理事会では、オープン以降の営業結果をもとに、組合員の要望や感想を教職員・専攻科生・学生が出し合って和気あいあいとした会議になりました。(疋田理事)



新入生歓迎パーティー

県立商科大学生協

設立2年目を迎えた商科大生協は、「生協ができてよかった」という初年度と違って、「生協があって当たり前」「もっと改善してほしい」という要望が出され始めました。昨年1年生だった生協委員を中心に「新入生歓迎の冊子をもっと良くしたい」

「新入生歓迎企画をもっと充実させたい」との思いを持ちより、知恵を寄せ合い、原稿を分けあい、企画のパートを分担しあいました。4月13日の入学式には、共済の加入促進と健康チェックの取り組みを行い、16日のオリエンテーションのガイダンスの時には「大和路通信」新歓さんいらっしゃい号を配布、17日の新入生歓迎会は、6グループに分かれての交流とクラブ紹介、ビンゴゲームと先輩の講演という楽しいひとときをつくる事ができました。

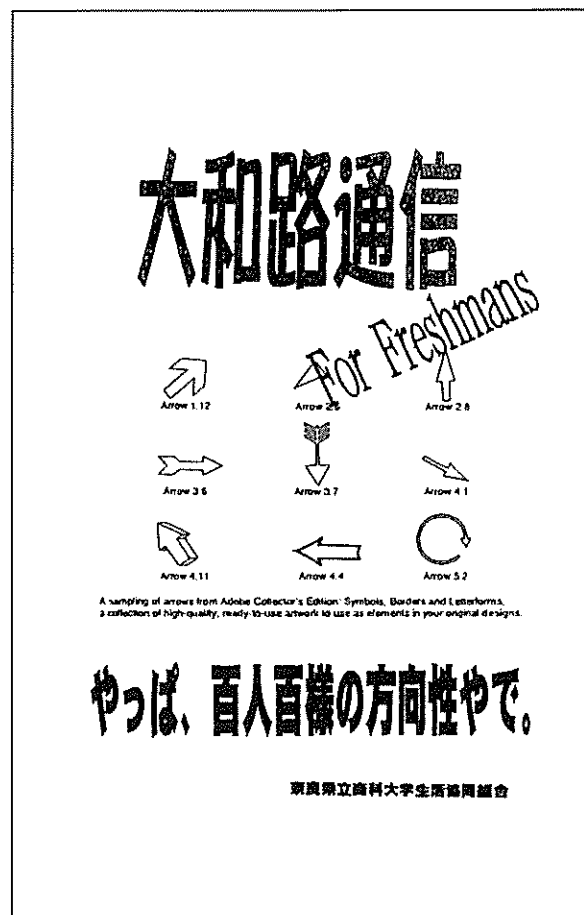
「大和路通信」は先生方にも好評で、学生の手によるものとしては商科大学始まって以来と云える物でした。新入生歓迎会も昨年と比べ、場所も変え、先輩もグループリーダーとして参加するなど新入生と一体となった取り組みとして好評でした。(小林理事)

奈良女子大学生協

10月に実施した「学生生活事態調査」の結果がまとまりました。すでに朝日新聞でご覧になった方もおられると思いますが、奈良女子大学生の生活の一端をうかがう事ができます。生協としては、組合員の生活の変化に目を向け、ニーズに合致した事業や取り組みを行うことが求められています。理事会では、自動販売機の価格値下げ(110円→100円)や、テレホンカードなどのプリペイドカードの自動販売機の導入など、組合員の充実してほしいという要望に応じてきました。

新入生歓迎ということでは、例年のように「エントランスイブ」の開催、「新入生歓迎冊子」の発行、「新入生相談」「健康チェック」の実施など先輩の経験をもとに、新入生を暖かく迎える取り組みが行われました。

(小林専務理事)



「大和路通信」新歓さんいらっしゃい号

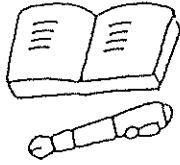
ならコープ

21世紀に向けて長期計画の討議スタート

21世紀まであと4年。92年からすすめてきた4次長期計画が今年で最終年となり、新たに、2001年までの長期ビジョンを策定します。急激な社会の変化や、厳しい事業環境、また協同組合の『価値論議』と『原則改定』等の状況の中でこれからのならコープのめざすところを明らかにするために、第5次長期計画委員会が3月に発足しました。

3月の武内哲夫氏の『協同組合原則の改定と今日的意味』の講演でスタートし、7月までは6回の講義を基に、情勢分析や生協の今日的役割と展望、各分野の今後の課題について明らかにして、認識を深めることとなります。(新田組合員活動室課長)

県連日誌



—お 知 ら せ—

- 2/ 8 農村の活性化の集い(当麻町文化センター)
- 2/ 9 県庁「食の安全」聞き取り
- 2/13 消エネルギーセミナー(大和高田)
奈良県農政推進会議 農村活性化部会
- 2/14 奈良高専創立総会
- 2/23 物価フォーラム
市環境審議会視察(栃木)
- 2/27 J A女性協議会30周年大会

- 3/ 1 Dコープたつたがわオープン
- 3/12 消費者団体交流プラザ
- 3/13 近畿地区生協協議会
- 3/18 アースデープレ企画
- 3/21 第4回理事会
- 3/25 奈良県環境審議会
- 3/29 「水」フォーラム発表
府県連協議会

- 4/15 関西地連地区別代議員会議
- 4/24 第12回関西地連総会
- 4/25 奈良市清掃業務審議会
- 4/27 アースデー野外演奏会

- 5/16 第11回生協行政協議会 第5回理事会
- 5/18 第8回通常総会 第1回理事会
- 5/28 消費者月間シンポジウム

アマチュア福祉防災研

(自主学習グループ)

アマチュア防災研は昨年(2010年)の1月17日の阪神大震災から、毎月1回学習会を持ってやってきました。今後は「福祉」もテーマにいらして学習します。

新たに会員を募集します。

☆学習会 毎月第4土曜日
午後 2:00～ 4:00
会場・奈良県生協連事務所

☆会費 年会費・4,000円

「ならアース基金協会」会員募集

☆活動内容 アース基金への協力
奈良の環境問題の学習
月1回の会議等

☆アース基金への寄付をお待ちしております。

平和行進

県内行進 6/26～ 6/30

- 6/26(水) 京都から引継ぎ
般若寺-奈良公園
-生協本部
- 27(木) 県庁前-JR奈良駅
-大仏殿横広場
- 28(金) 県内戦跡巡り
- 29(土) 郡山市役所-コープいまご
- 30(日) Dコープたつたがわ-三郷町コミュニティセンター
-王寺町役場

現代国際巨匠絵画展

日 時 7月12日(金)・13日(土)・14日(日)
AM10時～PM7時

場 所 ならまちセンター

主 催 かすが共同作業所
のぞみの家共同作業所

共 催 ほるぶ奈良支店

(販売収益金は、認可施設建設に向けての資金に充てさせていただきます)

問い合わせは

かすが共同作業所 (0742-24-1112)

古木まで

申し込み問い合わせは

奈良県生活協同組合連合会

・ TEL0742-34-3535まで